

令和6年6月4日(火)

校長室より③⑧



こんにちは。

今日は、昨日の全校朝会きのう ぜんこうちようかいで、もともと話す予定だったことです。

今週中こんしゅうちゅう たんにんに担任の先生からも同じようなお話があります。

みんなは、「はきもの」という言葉を知っていますか？はきものとは、履くもののことで、「靴」のことです。今、はきものを履いている人は手を挙げてください。ほとんどみんなですね。では、今日は、「はきものをそろえる」という詩を読みます。静かに聞いてください。

はきものを そろえると
心も そろう
心が そろくと
はきものが そろう
ぬぐときに そろえておくと
はくときに 心が みだれない
だれかが みだしておいたら
だまって そろえておいてあげよう
そうすれば きっと
世の中の人の 心も そろうでしょう

この詩は、長野県にある円福寺というお寺の住職、住職というのはお寺で 1 番偉い人ですが、藤本幸邦(ふじもと こうほう)さんという人が、作った詩です。

みんなは、昇降口の靴箱に靴をしまうときに、意識して揃えていますか？何も考えずに入れている人も多いと思います。今日からは、登校したとき、のびっこタイム、昼休み、下校するときに、「はきものをそろえる」を意識して、靴の右左、靴の踵を揃えて入れるようにしてください。

三咲っ子みんなの心が揃うと、もっともっと過ごしやすい学校になるはずです。

学校中の靴箱の靴が、きれいに揃うと嬉しいですよ。

明日は、千葉県総合教育センターへ出張、明後日は、3年生校外

学習さんばん ぜ(三番瀬)に行きます。「校長室より」は、2日間お休みします。

はきものをそろえる

円福寺 住職 藤本 幸邦

はきものを そろえると

心も そろう

心が そろうと

はきものが そろう

ぬぐとくに そろえておくと

はくときに 心が みだれない

だれかが みだしておいたら

だまつて そろえておいてあげよう

そうすれば きつと

世の中の人の心も そろうでしょう

